

2019年12月7日

京都教区 共同宣教司牧ブロック
担当司祭および信徒の皆さんへ

京都司教 パウロ大塚喜直

2020年 司教年頭書簡
『すべてのいのちを守るため』
～教皇フランシスコの呼びかけに応えて～

2020年の年頭書簡と司教訪問の趣意書

1. 2020年の京都教区のテーマ

2019年の教皇フランシスコの日本司牧訪問（11月23日～26日）のテーマは、『すべてのいのちを守るため』でした。これは、教皇フランシスコの回勅『ラウダート・シ』の中で発表された「被造物とともにささげるキリスト者の祈り」の中の最後の段落にあります。

おお、主よ、すべてのいのちを守るため、よりよい未来をひらくため、あなたの力と光でわたしたちをとらえてください。正義と平和と愛と美が支配する、あなたのみ国の到来のために。あなたはたたえられますように。アーメン。

この祈りは、キリスト者が、イエスの福音が示す、被造物についての責任を引き受けることができるようにと願う祈りです。「あなたに、話がある」。教皇は日本にいるすべての人々に、神の愛といのちの福音を、さまざまな場面でお話してくださいました。わたしたちは教皇のメッセージを心にとめ、味わい、祈りながら、『すべてのいのちを守るため』の使命を果たしてきたいと思えます。

そこで、今年の年頭書簡は、同じく回勅『ラウダート・シ』の中にある「わたしたちの地球のための祈り」を黙想したいと思えます。これは、全能の創造主である神を信じるすべての人とささげる祈りです。

〔わたしたちの地球のための祈り〕

全能の神よ、
あなたは、宇宙全体の中に、
そしてあなたの被造物のうちでもっとも小さいものの中におられます。
あなたは、存在するすべてのものを

ご自分の優しきで包んでくださいます。
いのちと美とを守れるよう、
あなたの愛の力をわたしたちに注いでください。
だれも傷つけることなく、兄弟姉妹として生きるために、
わたしたちを平和で満たしてください。
おお、貧しい人々の神よ、
あなたの目にはかけがえのない
この地球上で見捨てられ、忘れ去られた人々を救い出すため、
わたしたちを助けてください。
世界を貪るのではなく、守るために
汚染や破壊ではなく、美の種を蒔くために
わたしたちのいのちをいやしてください。
貧しい人々と地球とを犠牲にし、利益だけを求める人々の心に触れてください。
それぞれのものの価値を見いだすこと、
驚きの心で観想すること、
あなたの無限の光に向かう旅路にあって
すべての被造物と深く結ばれていると認めることを、
わたしたちに教えてください。
日々ともにいてくださることを、
あなたに感謝します。
正義と愛と平和のために力を尽くすわたしたちを、
どうか、勇気づけてください。

(教皇フランシスコ『回勅 ラウダート・シ とともに暮らす家を大切に』208頁)

2. 2019年の司教訪問

来年の司教訪問は、小教区の主日のミサ、また、外国語ミサに合わせて行います。
ミサのあと、60分の司教講話を行います。
テーマは、『すべてのいのちを守るため』です。

*日程は、別紙 「2020年 大塚司教のミサ予定」をご覧ください。

以上。